

各 位

上場会社名 株式会社創通
代表者 代表取締役社長 青木 建彦
(コード番号 3711)
問合せ先責任者 取締役副社長 出原 隆史
(TEL 03-6386-0311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	3,750	3,750	2,240	142.91
今回修正予想(B)	23,800	3,390	3,330	2,030	132.26
増減額(B-A)	△1,200	△360	△420	△210	
増減率(%)	△4.8	△9.6	△11.2	△9.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年8月期)	22,298	3,376	3,327	2,027	129.35

平成27年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,800	3,230	1,970	128.35
今回修正予想(B)	21,800	2,850	1,770	115.32
増減額(B-A)	△1,000	△380	△200	
増減率(%)	△4.4	△11.8	△10.2	
(ご参考)前期実績 (平成26年8月期)	20,168	2,823	1,702	108.59

※平成26年12月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割をしております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

事業環境に対する見通しの甘さ並びに変化への対応の遅れが根本的な要因であります。
具体的にはライツ事業において、ゲームカテゴリーの主流が携帯ゲーム・コンシューマーゲームからスマホゲームに移行する中、その対応が後手に回ったことで当該商品化の著作権収入が期初計画を下回る見込となっております。また、積極的なコンテンツ投資を継続しているものの、テレビアニメーション番組の二次利用においてDVD・BD販売の比重が減少している事業環境に対応しきれず、当該作品の著作権収入が伸び悩む結果となり、ライツ事業における著作権収入が期初予想を下回る要因となっております。
この結果、上記の通り連結業績および個別業績において売上高が期初予想を下回る見通しであります。また、利益率の高いライツ事業の売上高の減少が主な要因のため、営業利益、経常利益、当期純利益についてもそれぞれ予想を下回る見通しであります。

次期に向けては、事業環境の変化への適切な対応とともにコンテンツ投資の質の改善を図ってまいります。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上